



2021年(令和3年)

定時社員総会・理事会

第11期

2020年4月1日～2021年3月31日

日 時:2021年5月30日(日)

会 場:産経新聞社大阪本社4階

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

定時社員総会・理事会

○日 時 2021年5月30日(日) 午後10時から13時まで

○場 所 産経新聞社大阪本社4階(大阪市浪速区湊町 2-1-57)

※法人法により便宜上の総会は、下記承認事項の確認作業として、JDBA代表理事の理事長1名、副理事長2名、の3名で行います。

※新型コロナの影響で理事会、総会を開催することが出来ない為、JDBA の定款及び法人法96条により「総会」は「議決権の書面決議」として、関連資料をご郵送し、社員の半数の承認を得られ場合は、すべての議案を成立といたします。

☆総会資料について総数53票の内、承認48人(理事20人中15人承認1人委任2人
欠席、終身会員12人承認、A1, B団体チーム21人中20人委任)

※総数は53票(理事20、終身12、A1チーム、B21団体チーム)の過半数で承認。

○第1号議案

・2020年度事業報告、2020年度登録チーム報告

○第2号議案

・2020年度決算報告(承認事項)⇒承認

○第3号議案

・2020年会計監査、業務監査報告(中村監査)

・正味財産増減計算書との調整表(壇税理士)

・財務諸表(壇税理士)

○第4号議案

・2021年度予算(承認事項)⇒承認

○第5号議案

・2020年日本国際ドラゴンボート選手権収支明細(中止)

○第6号議案

・2021年度事業計画・日程

○第7号議案

・各専門委員会2021年度方針(各専門委員会委員長より)

○第8号議案

・2021年度から22年度の役員改正(承認事項)⇒承認

・その他

【第1号議案1】

2020 年度事業報告

(資料)

2020 年 4 月 1 日～2021 年3月末まで

(2020 年度)

【国内大会】

- 4 月 26 日(日) 宇治源平龍舟祭(京都宇治市):協力⇒中止
- 5 月 3 日(祝) いさドラゴンカップ2020(鹿児島県伊佐市)後援⇒中止
- 5 月 17 日(日) 東京ドラゴンボート大会2020(東京江東区豊洲・春海橋公園):主管
⇒中止
- 6 月 17 日(日) 第 10 回堺泉北港スモールドラゴンボート大会(大阪・高石市):主管
⇒中止
- 7 月 12 日(日) 天神祭奉納 2020 日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪市):主催
⇒中止
- 8 月 23 日(日) 第 15 回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会(滋賀県):後援⇒中止
- 8 月 23 日(日) 第 17 回KIX国際交流ドラゴンボート大会(泉佐野市):主催⇒中止
- 9 月 13 日(日) 第 8 回スモールドラゴンボート日本選手権大会(滋賀)主管⇒中止
- 10 月 4 日(日) 第 14 回びわ湖 1000m 選手権大会 &
第 9 回ドラゴンボート・グランドシニア大会⇒京都滋賀チームのみ参加
- ◇10月中旬予定 静岡ドラゴンボート大会第 10 回ツナカップ(直線 150 メートル)⇒中止

【国際大会】

- (2020 年)11 月 第 14 回 ADBF アジアドラゴンボート選手権(香港)⇒中止
第 12 回 Club Crew World Championships, 2020(フランス)⇒中止
- (2020 年)11/26-12/5 アジアビーチゲームズ(中国・海南省三亜市):JOC 派遣⇒22 年に延期
- (2021 年)5/29-30 第 10 回 KANSAI WORLD MASTERS GAMES 2021:ドラゴンボート競技(滋賀)
⇒22 年 5 月に延期
- (2021 年) 11/1-7 第 15 回 World Dragon Boat Championships, 2021:(香港)
- (2022 年)9/10-25 第 19 回アジア競技会(中国・杭州市):JOC 派遣

【第1号議案2】

2020年度JDBA 団体登録チーム(順不動)

A団体登録チーム:1チーム(昨年10チーム、2年前7チーム、3年前7チーム、4年前7チーム、5年前6チーム、6年前8チーム)

① bp(大阪)	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫

B団体登録チーム:20チーム(昨年40、2年前51、3年前54、4年前40、5年前53、6年前40、7年前43、8年前50)

① TAITAM X DRAGONS(東京)	② bp next (大阪)	③ Rスポーツマンクラブ(大阪)
④ チーム未来(大阪)	⑤ 吹田龍舟倶楽部(大阪)	⑥ パイレーツ(大阪)
⑦ 好きやねん大阪(大阪)	⑧ 香里丘高校5期生(大阪)	⑨ 池の里 LAKERS(滋賀県)
⑩ 横浜日龍団(神奈川県)	⑪ 鹿島龍舟部(東京)	⑫ Jungle Mania(千葉県)
⑬ 居酒屋「良」龍舟倶楽部(神奈川県)	⑭ チーム☆ニライカナイ(東京)	⑮ IHI 瑞龍丸(東京)
⑯ INO-G(埼玉)	⑰ ボン・オヤージ(東京)	⑱ 東京龍舟(東京)
⑲ ROA's(千葉)	⑳ チャイナドールチマキ(東京)	

都道府県協会登録 11 団体

① 沖縄県ドラゴンボート協会	② 東京都ドラゴンボート協会	③ 千葉県ドラゴンボート協会
④ 静岡ドラゴンボート協会	⑤ 愛知県ドラゴンボート協会	⑥ 福井県・九頭龍ドラゴンボート協会
⑦ 滋賀県ドラゴンボート協会	⑧ 京都府ドラゴンボート協会	⑨ 和歌山県ドラゴンボート協会
⑩ 大阪府ドラゴンボート協会	⑪ 兵庫県ドラゴンボート協会	※福島県協会は閉鎖

年度別 都道府県別A・B団体登録チーム加盟数 2020年度21チーム

県名	2020年度 21チーム	2019年度 49チーム	2018年度 58チーム	2017年度 61チーム	2016年度 47チーム	2015年度 60	2014年度 48	2013年度 52	2012年 度58
福島県	0	0	0	0	0	0	1	0	0
埼玉県	1	2	2	3	1	2	1	0	1
千葉県	2	0	0	0	1	3	1	1	1
東京都	6	14	16	17	12	16	10	14	14
神奈川	2	0	4	4	2	5	4	1	3
静岡県	0	1	1	2	2	1	0	1	1
愛知県	0	1	1	1	1	1	1	1	2
京都府	0	1	1	1	1	1	1	1	1
滋賀県	1	4	5	4	2	2	2	3	2
大阪府	8	12	18	16	16	20	20	22	23
兵庫県	0	10	7	9	9	9	7	6	8
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	1	2
奈良県	0	1	1	1	0	0	0	0	0
鳥取県	0	1	1	1	0	0	0	0	0
熊本県	0	1	0	1	0	0	0	1	0
鹿児島	0	1							
沖縄県	0	0	1	0	0	0	0	0	0

【第2号議案】

決算報告(承認)

事務局

2020年度 一般社団法人日本ドラゴンボート協会決算報告

(2020年4月1日～2021年3月末まで)

¥ 2,400,028(総収入)－¥ 1,957,257(総支出)＋¥ 2,918,281
(2019年度繰越金)＝¥ 3,361,052 (2020年度3月末時点通帳残金額)

1. 収入の部(税込)

収入項目	2020年度予算	2020年度決算	増減	内訳
1. 会費・登録料	0	180,000	+	個人、団体登録料
2. 検定料	0	0	－	パドル検定
3. 主管料	0	0	+	日本選手権、堺泉北、スモール選手権、東京大会
4. JDBA HP 広告料	0	220,000	－	JDBA のHPへのサンスポバナー広告料
5. 寄付金	0	0		チーム・役員
6. 日本選手権ドーピングくじ助成	0	0	－	ドーピング助成金はなくなり、実費一括分担金支払
7. 日本選手権運営基金助成金	0	0	0	日本スポーツ振興センターより基金大会助成金 P16 に明細記載
8. 日本選手権大会参加料・協賛金	0	0	－	P16 に明細記載
9. 通帳間移動①	0	0	－	JDBA 助成通帳より戻金
10. 通帳間移動②	0	0	+	JDBA 本体通帳より借入
11. 通帳間移動③ (ドーピング通帳)	0	0	+	19年度よりなし
12. 通帳間移動④	0	0	+	
13. 借入金(谷事務総長より)	0	0	+	
14. 雑収入	0	2,000,028	+	持続化給付金と利息
小計	0	2,400,028		
前年度繰越金	2,918,281	2,918,281		
合計	2,918,281	5,318,309		

2. 支出の部(税込)

支出項目	2020 年度予算	2020 年度決算	増 減	内 訳
1. 会費	150,000	226,740	+	IDBF、水上安全協会、 ワールドゲームズ会費ほか
2. 宿泊・交通費 国内旅費 海外旅費	100,000	5,000	+	役員国内交通費
3. 事務所費	700,000	745,790	-	HP管理費、税務会計 処理費、税金等
4 通信費・郵券 通信費 郵券	15,000	21,220	+	海外送金料 振込手数料
5. 会場借上げ	0	0	-	総会を産経に変更の為
6. 消耗品・補修費	0	0	+	ドラゴン修理費
7. 会議費・打合せ費	0	1,507	-	関空大会打合せ
8. 地方協会分配金	0	42,000	+	東京、大阪、滋賀協会
9. ハイスピードカメラ返済	0	0		2017 年7月で終了
10ドラゴン 5 隻保管 料	817,500	825,000	0	大阪・南港にカバー付き で5隻保管
11選手強化費	200,000	90,000	-	世界選手権
12立替金返金①	0	0	+	JDBA 口座立替金返済 (谷事務局長より)
13ドーピング検査費・ 立替金	0	0	-	本年度より分担金に変 更
14立替金返済②	0	0	+	日本選手権口座立替 金返済(JDBA 口座よ り)
15日本選手権大会 経費(内訳は P15)	0	0	+	※P16 に詳細を記載
16予備費	835,781	0	0	
17海外大会役員派 遣費用	100,000	0	+	世界選手権役員派遣 2 人(菖蒲、森永)
合計	2,918,281	1,957,257	+	

(注)2020 年度は、持続化補助金200万円の収入があり、年間必要経費約200万円を支払い可能となつた。21年度は持続化給付金の見込みがない為、協会財政は危機的状態が予想される。(事務局)

【第3号議案】 2020年度 会計監査、業務監査報告

(外部監査：西川京子公認会計士、中村英作氏)

2020年度の事業執行状況及び決算関係書類について、監査いたしましたところ

いずれも正当・妥当に処理されていました。

2021年5月6日

会計監査

西川京子



業務監査



【第3号議案】 2020年度 会計監査、業務監査報告

(外部監査：西川京子公認会計士、中村英作氏)

2020年度の事業執行状況及び決算関係書類について、監査いたしましたところ
いずれも正当・妥当に処理されていました。

2021年5月6日

会計監査



業務監査

中村英作

第12期

財 務 諸 表

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

〒556-8663
大阪市浪速区湊町2-1-57
サンスポ事業部内

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

理事長 長谷川 伸

貸借対照表

令和 3年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,361,052	2,918,281	442,771
流動資産合計	3,361,052	2,918,281	442,771
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
船舶	8	8	0
その他固定資産合計	9	9	0
固定資産合計	9	9	0
資産合計	3,361,061	2,918,290	442,771
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	9,189	9,189	0
仮受金	100	100	0
流動負債合計	9,289	9,289	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	9,289	9,289	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	3,351,772	2,909,001	442,771
正味財産合計	3,351,772	2,909,001	442,771
負債及び正味財産合計	3,361,061	2,918,290	442,771

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日 から令和 3年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	180,000	2,617,500	△2,437,500
受取補助金等			
受取民間助成金	0	13,402,571	△13,402,571
雑収益			
受取利息	28	26	2
雑収益	2,220,000	10,360	2,209,640
雑収益計	2,220,028	10,386	2,209,642
経常収益計	2,400,028	16,030,457	△13,630,429
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	5,000	458,395	△453,395
通信運搬費	0	133,920	△133,920
消耗什器備品費	0	262,901	△262,901
消耗品費	0	142,716	△142,716
修繕費	0	26,398	△26,398
印刷製本費	0	149,040	△149,040
光熱水料費	0	307,851	△307,851
賃借料	0	302,876	△302,876
保険料	0	199,480	△199,480
支払負担金	184,000	453,000	△269,000
支払寄付金	0	150,000	△150,000
委託費	1,162,500	10,621,590	△9,459,090
雑費	29,547	844,045	△814,498
事業費計	1,381,047	14,052,212	△12,671,165
管理費			
交際費	2,160	0	2,160
旅費交通費	0	84,000	△84,000
通信運搬費	3,780	0	3,780
消耗什器備品費	0	14,724	△14,724
消耗品費	0	2,972	△2,972
租税公課	50,000	72,966	△22,966
支払負担金	76,040	31,648	44,392
委託費	343,000	393,665	△50,665
雑費	101,230	491,134	△389,904
管理費計	576,210	1,091,109	△514,899
経常費用計	1,957,257	15,143,321	△13,186,064
評価損益等調整前当期経常増減額	442,771	887,136	△444,365
当期経常増減額	442,771	887,136	△444,365
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	442,771	887,136	△444,365
当期一般正味財産増減額	442,771	887,136	△444,365
一般正味財産期首残高	2,909,001	2,021,865	887,136
一般正味財産期末残高	3,351,772	2,909,001	442,771

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	3,351,772	2,909,001	442,771

第2号議案と正味財産増減計算書との調整表

(単位：円)

収入の部	2,400,028
正味財産増減計算書	
經常収益計	2,400,028

支出の部	1,957,257
源泉所得税	40,840
源泉所得税納付	△40,840
正味財産増減計算書	
經常費用計	1,957,257

※この調整表で収入と収益、支出と費用の違いを検証した結果
第2号議案と正味財産増減計算書の一致が確認されました

※P9からP14までは壇税理士事務所壇成俊氏からの資料です。

【第4号議案】

2021年度予算(承認)

事務局

2021年度一般社団法人日本ドラゴンボート協会予算
(2021年4月1日から2022年3月末まで)

1. 収入の部

収入項目	2020年度決算	2021年度予算	増減	内訳
1. 会費 (登録料)	180,000	0	-	A個人A・B団体会費、都道府県会費
2. 検定料	0	0	+	パドル検定
3. 主管料	0	0	-	堺泉北、びわ湖、東京、
4. JDBA HP 広告料	220,000-	0	-	協会 HP パナーのサンスポ協賛金
5. チーム役員 寄付	0	0	0	
6. 日本選手権 ドレーピング助成	0-	0	+	くじ助成金 日本選手大会
7. 日本選手権 運営費助成金	0	0	-	toto 大会助成金 日本スポーツ振興センターより
8. 日本選手権 参加料・協賛金	0	0	+	参加料 協賛金: 大王製紙
9. 立替金返金	0	0	+	JDBA 本体通帳より
10. 借入金 (基金通帳)	0	0	-	JDBA 本体通帳より 借入
11. 借入金 (ドレーピング通帳)	0	0	-	JDBA 本体通帳より 借入
12. 雑収入	2,000,028	0	+	持続化給付金
13. 寄付	0	0	+	理事役員
小計	2,400,028	0	-	
前期繰越金	2,918,281	3,361,052-	+	2019年通帳残金
合計	5,318,309	3,361,952-	-	

2. 支出の部

支出項目	2020 年度決算	2021 年度予算	増 減	内 訳
1. 会費, IDBF 登録費	226,740	310,000	—	IDBF、JADA 会費 DP 会費
2. 旅費	5,000	30,000	—	役員交通費
国内旅費				国内役員
3. 事務所費	745,790	750,000	+	HP 管理、会計処理費など
4. 通信費 郵券	21,220	20,000	—	振込手数料
5. 会場借上	0	0	+	総会会場等
6. 消耗品費 ボート修理費	0	0	—	JDBA ボート修理費
7. 会議費	1,507	0	+	天神大会来賓食事代など
8. 地方協会分配金	42,000	0	—	
9. ハイスピードカメラ返済金	0	0		27年7月まで
10. 5艇保管料	825,000	825,000	0	5艇を大阪南港に保管
11. 選手強化費	90,000	0	+	
12. 立替金返金①			0	事務局長立替金
13.			—	JADA
14. 立替金返金②			—	JDBA 通帳から toto 専用通帳に貸出
15. 日本選手権大会経費			—	
16. 海外大会派遣役員補助費			+	国際委員会
小計	1,957,257	1,935,000	—	
17 予備費		1,462,052		
合計	1,957,257	3,361,052	—	

【第5号議案】

天神祭奉納 2020年日本ドラゴンボート選手権大会収支明細⇒中止

※本大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センターから toto の基金助成を得て運営しています。

1	参加料収入	20人漕ぎ、10人漕ぎ	
2	toto 大会運営助成金	独立行政法人日本スポーツ振興センター	
3	協賛金	大阪製紙、大会プログラム広告費	
4	借入金	JDBA 本体通帳より借入(天神大会費用)	
5	雑収入	普通預金利息	
	収入合計(税込)		

(税込)

1	施設費	陸上施設、水上施設、音響設備費	
2	製作費	大会プログラム製作費	
3	資材費	参加者用ドリンク購入代	
4	使用料	会議室、棧橋、公園、警戒艇使用料	
5	運送費	資材運送費	
6	人件費	実況、司会料 2 人分	
7	警備費	会場警備員費	
8	ゴミ処理費	南天満公園ゴミ処理	
9	主管料	大阪府ドラゴンボート協会	
10	広告宣伝費、大会運営費	サンケイスポーツ	
11	宿泊交通費	役員宿泊、役員交通費	
12	会費	大阪水上安全協会賛助金	
13	打合せ費	協賛社食事代	
14	事務所費	役員弁当代、初穂料、氷代、表彰品	
15	保険代	傷害保険他	
16	郵券	振込料	
17	立替金	サンスポ立替金 謝礼金、資材購入費	
18	借入金戻し金	JDBA本体通帳へ(大会運営費)	
	支出合計(税込)		

【第6号議案】

2021年度JDBA関連大会日程（予定） 5月30日現在

【国内大会】

- ◇未定 **中止** 宇治源平龍舟祭(京都・宇治市) 大阪協会主管
- ◇未定 **中止** いさドラゴンカップ2021(鹿児島伊佐市) 後援事業
- ◇5月16日(日) **中止** 東京ドラゴンボート大会2021(東京・春海橋公園前)
JDBA 主管、サンスポ後援
※第14回 ADBF アジアドラゴンボート選手権大会予選会
- ◇6月20日(日) **中止** 第10回堺泉北港スモールドラゴンボート大会(大阪・高石市)
- ◇7月11日(日) **延期** 天神祭奉納日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪市・天満橋)
JDBA、サンスポ主催
※第14回 ADBF アジアドラゴンボート選手権大会最終選考会
⇒11月7日(日)に延期
- ◇8月 **中止** 第10回九頭竜ドラゴンボート大会(福井)
- ◇8月22日(日) **予定** 第16回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会 サンスポ後援
- ◇8月末(日) **中止** KIX 国際交流ドラゴンボート大会(大阪・関西国際空港)
- ◇9月19日(日) **予定** 第11回ツナカップ(静岡)
- ◇9月26日(日) **予定** 第11回中川運河ドラゴンボート大会(愛知県) JDBA後援
- ◇未定 第15回びわ湖1000m選手権大会 &
第9回ドラゴンボート・グランドシニア大会

- ◇10月17日(日) **予定** 第9回スモールドラゴンボート日本選手権(滋賀・大津市)
- ◇11月7日(日) **予定** 天神祭奉納日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪市・天満橋)

【国際大会】

- 2021年11月1日から7日 : 第15回世界DB選手権大会(香港) ※IDBF30周年記念
- 2022年9月 : 第19回アジア競技大会(中国・杭州市)
- 2022年 : 第6回アジアビーチゲームズ(中国・三亜市)
- 2022年 : 第14回アジアDB選手権大会(香港)
- 2022年 : 第13回世界クラブカップ選手権大会(Sarasota city, USA)
- 2023年 : 第16回世界選手権大会(Seville, Spain)
- 2022年5月 ワールドマスターズゲーム関西(ドラゴンボートは滋賀県大津市で開催)

(2021年4月22日)

報告者：森永 裕幸

1. 海外からの問い合わせに対する対応（大会関係報告含む）

世界的な新型コロナウイルス感染拡大防止による渡航制限や禁止、大会中止のため、問い合わせはありませんでした。

2. 今後の主なドラゴンボート競技大会

2021年11月：第15回世界選手権大会（香港）※IDBF30周年記念

2022年9月：第19回アジア競技大会（中国・杭州市）

2022年5月：第6回アジアビーチゲームズ（中国・三亚市）

2022年：第14回アジア選手権大会（香港）※当初2020開催予定

2022年：第13回世界クラブカップ選手権大会（Sarasota city, USA）

2023年：第16回世界選手権大会（Seville, Spain）

※2022年5月 ワールドマスターズゲーム関西

3. その他

①国際審判員の普及

日本ドラゴンボート協会には現在30名の国際審判員資格保持者がいます。国際審判員を日本において普及することは、来年開催予定のマスターゲームズなど国内における国際大会に対応できるとともに、国際選手権レベルの大会で審判経験をさせていただくことは安定した国内大会の競技運営にもつながると考えています。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いします。

②新型コロナウイルスに関する対応

IDBFやADBDFにおける海外諸国では、大会延期や中止など、感染拡大防止の対応を行っています。また、定期的にリモート会議を開催し、各国の状況を共有するとともに、今後の大会開催や運営について、意見交換を行っています。

2020 年度活動報告並びに 2021 年度活動方針

2021 年 4 月

日本ドラゴンボート協会
法制営業委員会委員長 利波敏行

【2020 年度活動報告】

■法制面の活動について

新型コロナの感染拡大防止対策として、制度面の整備が必要かと思っただが、国や地方自治体、またスポーツ庁が示すガイドラインに沿いつつ、一般的なイベント実施に対する指針については（一社）イベント産業振興協会が示すガイドラインとを付け合せると、参加チームと観戦者対応の両面を組み込んだものが必要であると感じた。

現状、この1年を振り返ると、不特定多数を対象にしたイベントはほぼ中止となり、実施されたものでも人数限定、検温対応、COCOA 等追跡アプリのDL推奨、マスク着用での観戦などが示されていた。

スポーツイベントも同様の対処で示されたが、競技主流のものは、無観客あるいは人数限定で実施。

参加選手に対しては、感染拡大防止の申し送り徹底とPCR検査の実施、行動範囲の限定、大会前後の健康状態の確認「体調管理チェックシート」の記載、体温記録活用アプリ「テレサ」による問診等アスリートには負荷のかかるものが多かったものと思われる。協会としての法制整備の必要性を感じたが、調査データ不足もあり特定分野の調査分析に留まる。

一方で、テレワーク、リモートワーク、外出自粛等による運動不足の部分がクローズアップされ企業や団体から、スポーツをすることの大切さ、軽微な運動の推奨など身体を動かすことの重要性が改めて認識されたのも事実である。

【2021 年度活動方針】

■法制面の活動について

コロナ禍に対する完璧な制度を作り上げるのは無理であるが、前年度に発表された様々なガイドラインを元に、ある一定の指針案の策定には取り組みたい。

ただし、参加選手／チームに対する事項については、医事厚生委員会、強化委員会や普及委員会等横断的に各専門委員会の方々からの意見を頂くことが重要であると認識しています。助言をお願いします。

■営業面の活動について

WMG2021 が 2022 年 5 月に延期されたため、スポーツツーリズムイベントにおけるドラゴンボートの認知促進はこれからであるが、コロナ禍の影響で通常大会の実施も厳しい

中、WMGに向けてのプロモーション活動は状況を見据えながらのものとなる。

一方で前年度の報告に記載した通り、スポーツ促進の声も多数挙げられているので、水上スポーツにおける安全面の確保、感染拡大防止の徹底による安全面の両面に配慮した、大会のプロデュース、誘致活動を行う。

※2025年に予定されていたWMG2025パリ大会は、コロナ禍の影響による財政難のため断念されたためIMGA裁定により台湾で開催されることが決定。ドラゴンボート競技が採用されれば、2大会続けてアジアで開催されることで、注目度、認知度向上の機会になるものと捉えている。

評議委員会 事業報告

宮村 一

コロナ禍の影響で日本協会及び地方協会で開催大会が中止しに成り活動も出来ない状況が続いています。

大阪府ドラゴンボート協会が11月に府民大会を感染予防には十分に考慮して開催されました、久しぶりに皆さんの元気な姿を拝見してチームメンバー及び競技役員共々和やかな大会が事故も無く無事に終了しました。

2020年は新型コロナウイルスの影響により、大会やイベントなどが軒並み中止となりました。

また、各地・各チームにおける活動そのものも、ウイルスの流行拡大防止を念頭に制限が生じました。

評議委員会も限定的な活動に留まってしまうこととなりました。

一方、滋賀県協会にて新型コロナウイルスに対応した活動マニュアルが制定されるなど、withコロナを意識した対応も取られるようになりました。

10月に関西地区で行われましたびわ湖1,000mでも、ソーシャルディスタンスの確保やマスク(透明なプラスチック製)の着用など、感染防止対策を徹底され、無事にレースを終えられました。

これまでならびに各地での活動を総括しますと、

○緊急事態宣言発令下では、基本的に練習をはじめとした活動は自粛傾向にある。

○緊急事態宣言が発令されていない時は、チームごと・地区の合同練習等の練習程度の活動は、検温やできる限りのマスク着用などをはじめとした体調管理徹底のもと、前向きかつ継続的に行われている。

○一方で、大会やイベントはほぼ全面的に中止になっている。また、2021年も初夏までの大会は中止(延期含む)など、開催回避に向けたものがほとんどとなっている。

以上の傾向にあります。

評議委員会としましては、継続的に情報収集を行い、アフターコロナに向けたドラゴンポート活動・発展の一助となるよう、努めたいと思います。

何より、1日も早く、コロナウイルスの影響が収束し、ドラゴンポートの大会やイベント、練習などの活動が、2019年までのように活発に行われますことを祈り・願うばかりです。

評議委員会 一同

※上記の情報は、東京・静岡・愛知・滋賀・京都・大阪・兵庫の協会もしくはチームに、可能な範囲でヒアリングを掛け、まとめました。

評議委員会 事業計画

宮村 一

まだまだコロナ過が継続していますので各協会に置かれましては計画も出来ない状態が継続します

組織運営及びチームの皆様は感染予防を考慮して大会、練習会を開催頂くよう願います。

普及委員会報告

NPO法人横浜市ボート協会との交流のご報告ならびに計画

2021年5月

普及委員丸山春海

2020年12月、横浜市鶴見川漕艇場を活動拠点とするNPO法人横浜市ボート協会主催の横浜ボートマラソン（第19回大会）を視察したご縁から横浜市ボート協会の方々との交流が始まりました。小・中学生向けの普及の話を伺ったり、障がい児が楽しくボートを漕ぐ姿を拝見しています。毎週末、漕艇場には小学生から高齢者まで多くの世代の方々が集まり、楽しくボートを漕ぐ姿が見られます。神奈川県にも現在まん延防止等重点措置が実施されていますが、漕艇場のご指導の下、三密回避のための人数制限や手洗い・消毒の徹底を行い、乗艇機会が保たれています。漕艇場には笑顔や笑い声があふれています。

2021年に入り、横浜市ボート協会やローイングチームの方々とはボートスポーツの普及について意見交換を始めました。ローイングとドラゴンボート、違う艇種ではありますが「同じボートに乗るクルー皆で力をあわせて漕ぐ」ことは共通しています。多様な方が集まりボートを楽しむ、お互いボートの共通点や違いを理解して受け入れていく、漕艇場に集まることでボートを介したダイバーシティ&インクルージョンの考え方が生まれています。そして、ローイングボートとドラゴンボートを並べて漕いでみようという発想に繋がりました。

ローイングとドラゴンボートを並べて漕いでみようという発想からいくつかアイデアが出て、2021年度内の実現を目指して横浜市ボート協会と協議中です。小さなアイデアにすぎませんが、ボートを楽しむ方々の様々な感覚を取り入れ、大きな実現意義を生み出すことが目標です。

【2021年度計画】

昨年、ローイング競技は規模縮小や人流抑制等が講じられ、一部のレース・イベントが実施されました。横浜市ボート協会では今年もレース・イベントが計画されています。これらイベントへの参加やチーム間交流の推進を通じ、水上スポーツの活性化やローイング・ドラゴンボートのコラボによる話題性づくりを図っていく予定です。今後パイロットケースでのドラゴンボートレースの実現可能性を協議してまいります。

なお、いずれもコロナ感染対策を十分に行った上での対応となります。働き方が変わり、外出自粛によるストレスを解消する場が望まれる中、健康維持や気分高揚を叶えられる手段にもなり得ることも効用として掲げてまいります。

以上

【第8号議案】(承認事項) ⇒承認

①2021年5月－2023年3月末 JDBA新役員体制(案)

- ◎会長 松川るい(自民党参議院議員・防衛庁政務官)
※名誉会長の小野清子会長は、令和3年3月19日にご逝去されました。
- ◎筆頭副会長 矢田節彦
副会長 櫻井顕一(代表理事)
副会長 後藤幸弘(理事)
副会長 細谷悦哉
- ◎理事長 長谷川伸(代表理事・競技委員長)
- ◎副理事長 ADBF 常務理事 菖蒲誠(代表理事・国際統括)
副理事長・事務総長 谷達也(代表理事・国内統括)
- ◎常任理事 鎌田敦士(用器具統括)
常任理事 原田直己(医事委員長)
常任理事 木村一郎(普及副委員長)
常任理事 森永裕幸(国際委員長)
常任理事 半田佳彦(強化委員長)
常任理事 楡木栄次郎(強化委員会 混合担当)
- ◎理事・事務局長 千葉晋史=新任
事務局 清水基央=新任
- ◎理事 後藤幸弘(科学技術委員長)
理事 宮村一(評議委員長)
理事 合田靖海(広報普及委員長)
理事 山崎裕司(審判委員長・レスキュー委員長)=新任
理事 石川平明(用器具委員長)
理事 利波敏行(営業法制委員長)
理事 松尾由佳(国際担当)
※川北理事はご退任されました。
- ◎会計監査 田中豪(会計監査)=新任
業務監査 中村英作(業務監査)
※西川京子監査はご退任されました。
※理事は4人以上、18人まで。(JDBA定款「第17条 理事の員数」)
- ◎相談役 山岡伸一(元理事)、竹末佳紀(元理事)
- ◎各専門委員会
競技委員長 長谷川伸
強化委員長 半田佳彦

評議委員長	宮村一
審判委員長	山崎裕司=新任
レスキュー委員長	山崎裕司=新任
国際委員長	森永裕幸
用器具委員長	石川平明
法制営業委員長	利波敏行
普及広報委員長	合田靖海
医事厚生委員長	原田直己
科学技術委員長	後藤幸弘
◎委員	村野智子（総務部長）
委員	野尻恵子（国際委員）
委員	河田英幸（強化委員会女子担当）
委員	高橋雅彦（委員 強化委員会 オープン担当）
委員	山脇秀錬（評議委員会副委員長）
委員	高橋冬扇（評議委員会副委員長）
委員	池田和也（用器具委員会副委員長）
委員	田中讓（科学技術委員会副委員長）
委員	杉浦 丈仁（たけひと）・森薬局管理薬剤師=新任 （医事厚生委員会スポーツファーマシスト）
	※薬の質問が来た時は事務局から回す。
委員	橋本正勝（医事厚生委員会）
委員	丸山春海（普及委員会担当）

②2021 日本選手権における JDBA 理事 18 名への役員謝金（1 日 4000 円）

支払いについて（承認事項）⇒承認

2021 年開催予定の日本ドラゴンボート選手権大会の競技役員として参加する JDBA 理事 18 名に対して、交通費・謝金として 1 人 4000 円を支払う。（事務局）

③2021 日本ドラゴンボート選手権大会の開催日程延期について

コロナ禍の中、緊急事態宣言発出により各チームの練習が滞っている現状を踏まえて、7 月 11 日開催予定の日本選手権を 11 月 7 日に延期して開催する。（事務局）

④日本レクリエーション協会への加盟について（長谷川理事長より）

海の森水上競技場の優先予約ができる団体として TDBA は東京都レクリエーション協会に加盟すべく手続きしています。JDBA も日本レクリエーション協会への加盟を目指したい。

理事会議事録

令和3年5月30日午後0時45分、大阪市浪速区湊町二丁目1番57号 株式会社産業経済新聞社大阪本社4階において理事会を開催した。

理事総数 18名 出席理事 15名

監事総数 2名 出席監事 0名

出席理事の氏名 長谷川 伸、菖蒲 誠、谷 達也、千葉 晋史
櫻井 顯一、原田 直己、木村 一郎、半田 佳彦、榆木 栄次郎、
宮村 一、合田 靖海、後藤 幸弘、鎌田 厚、森永 裕幸、
松尾 由佳

なお、理事・長谷川伸、理事・菖蒲誠、理事・谷達也、理事・千葉晋史を除く理事は、インターネットを使った会議システムにより本理事会に出席した。

上記のとおりのおり出席があり本理事会は適法に成立したので、理事・長谷川伸は選ばれて議長となり、本理事会は、インターネットを使った会議システムは、出席者の映像及び音声
が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互
いにできる仕組みとなっていることが確認され、議案の審議に入った。

議案 代表理事並びに理事長及び副理事長選定の件

議長は、今般、代表理事並びに理事長及び副理事長を選定する必要がある旨を述べ、一
同に諮ったところ、全員一致をもって、次の者を選定した。

なお、被選定者は、席上就任を承諾した。

代表理事（理事長） 長谷川 伸 代表理事（副理事長） 菖蒲 誠
代表理事（副理事長） 谷 達也 代表理事 櫻井 顯一

インターネットを使った会議システムは終始異状なく、議長は、以上をもって本日の議
事を終了した旨を述べ、午後1時閉会した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事が次に記名押印する。

令和3年5月30日

一般社団法人日本ドラゴンボート協会理事会

議長代表理事 長谷川 伸

代表理事 櫻井 顯一

代表理事 菖蒲 誠

代表理事 谷 達也

理事 後藤 幸弘

理事 鎌田 厚

理事 原田 直己

理事 木村 一郎

理事 森永 裕幸

理事 半田 佳彦

理事 楡木 栄次郎

理事 宮村 一

理事 合田 靖海

理事 松尾 由佳

理事 千葉 晋史

定時社員総会議事録

1. 日 時：令和3年5月30日 午前10時
 2. 場 所：大阪市浪速区湊町二丁目1番57号
株式会社産業経済新聞社大阪本社4階
 3. 出席者：議決権のある社員総数 52名
総社員の議決権の数 52個
出席社員総数（委任状出席を含む） 49名
この議決権の総数 49個
 4. 議長理事：長谷川 伸
 5. 出席理事：菖蒲 誠、谷 達也、千葉 晋史（新任）
以下理事は、インターネットを使った会議システムにより出席
櫻井 顯一、原田 直己、木村 一郎、半田 佳彦、楡木 栄次郎、
宮村 一、合田 靖海、後藤 幸弘、鎌田 厚、森永 裕幸、
松尾 由佳、山崎 裕司、石川 平明、利波 敏行
 6. 出席監事：田中 豪（新任、インターネットを使った会議システムにより出席）
なお、上記社員のうち11名（議決権数11個）は、インターネットを使った会議システムにより本社員総会に出席した。
- 以上のとおり社員の出席があったので、定款の規定により、本定時総会は適法に成立したので、理事長長谷川伸は、議長席につき、本社員総会はインターネットを使った会議システムを用いて開催する旨を宣した。
- インターネットを使った会議システムは、出席者の映像及び音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認され、議案の審議に入った。

第1号議案 2020年度事業報告及び2020年度JDBA団体登録チーム報告の件
議長は、2020年度の実業報告及び2020年度JDBA登録チームの報告を行った。

第2号議案 2020年度決算報告の件
事務局長は、2020年度の決算報告を述べ、議長が一同に諮ったところ、全員一致の賛同を得た。

第3号議案 2020年度会計報告・会計監査・業務監査の件

議長は、監事西川京子及び監事中村英作が本総会を欠席したため、両氏作成の監査報告書を代読する旨を述べ、「2020年度の事業執行状況及び本社員総会において提出される計算書類については、いずれも法令及び定款に適合し、いずれも正当・妥当に処理されている旨」の記載ある報告書を代読した。

また、塩税理士より正味財産増減計算書及び調整表の説明があった。

第4号議案 2021年度予算の件

事務局長は、2021年度の予算計画を述べ、議長が一同に諮ったところ、全員一致の賛同を得た。

第5号議案 2020年日本国際ドラゴンボート選手権大会収支明細の件

議長は、2020年日本国際ドラゴンボート選手権大会が中止となった経緯につき、詳細に報告した。

第6号議案 2021年度事業計画と大会日程の件

議長は、2021年度の事業計画及び大会日程を詳細に説明した。

第7号議案 2020年度各専門委員会報告と2021年度事業方針の件

各専門委員長より2020年度の事業報告と2021年度事業方針が報告された。

第8号議案 理事及び監事選任の件

議長は、定款の定めにより、理事及び監事全員が本定時社員総会終結と同時に任期満了し、退任することになるので、その改選の必要がある旨を述べ、一同に諮ったところ、全員一致をもって、次の者を理事及び監事に選任した。

なお、出席被選任者は、席上就任を承諾した。

理事	長谷川 伸	理事	櫻井 顕一	理事	葛蒲 誠
理事	谷 達也	理事	後藤 幸弘	理事	宮村 一
理事	原田 直己	理事	合田 靖海	理事	鎌田 厚

理事 半田 佳彦 理事 木村 一郎 理事 木柴次郎
理事 森永 裕幸 理事 利波 敏行 理事 松尾 由佳
理事 石川 平明 理事 山崎 裕司 理事 千葉 晋史
監事 中村 英作 監事 田中 豪

第9号議案 JDBA新役員選定の件

議長は、本理事会終了後より2021年3月末までのJDBAの新役員につき、別紙のとおり選任したい旨を述べ、一同に諮ったところ、全員一致をもって、別紙のとおり新役員を選任した。

第10号議案 日本選手権に競技役員として参加するJDBA理事に対するの謝金・旅費支給承認の件

事務局長は、2021年開催予定の日本ドラゴンボート選手権大会の競技役員として参加するJDBA理事18名に対して、謝金・旅費として、一人4,000円を支給したい旨を説明し、議長が一同に諮ったところ、全員一致の賛同を得た。

第11号議案 2021年日本ドラゴンボート選手権大会開催日程延期の件

事務局長は、緊急事態宣言発出により、各チームの練習が滞っている現状を踏まえ、2021年7月11日開催予定の日本選手権を、2021年11月7日を中心に延期して開催予定であると説明した。

第12号議案 日本レクリエーション協会への加盟の件

議長は、海の森水上競技場の優先予約ができる団体として、TDBAが、東京都レクリエーション協会に加盟すべく手続き中である旨を説明し、今後、JDBAも日本レクリエーション協会への加盟を目指していく旨であることを述べた。

7. 閉 会：インターネットを使った会議システムによる社員総会は終始異状なく、議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午後0時45分閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成する。

令和3年5月30日

一般社団法人日本ドラゴンボート協会定時社員総会

議長代表理事兼

議事録作成者 長谷川 伸



【第9号議案】(承認事項)

①2021年5月－2023年3月末 JDBA新役員体制(案)

- ◎会長 松川るい(自民党参議院議員・防衛庁政務官)
※名誉会長の小野清子会長は、令和3年3月19日にご逝去されました。
- ◎筆頭副会長 矢田節彦
副会長 櫻井顕一(代表理事)
副会長 後藤幸弘(理事)
副会長 細谷悦哉
- ◎理事長 長谷川伸(代表理事・競技委員長)
- ◎副理事長 ADBF 常務理事 菖蒲誠(代表理事・国際統括)
副理事長・事務総長 谷達也(代表理事・国内統括)
- ◎常任理事 鎌田敦士(用器具統括)
常任理事 原田直己(医事委員長)
常任理事 木村一郎(普及副委員長)
常任理事 森永裕幸(国際委員長)
常任理事 半田佳彦(強化委員長)
常任理事 楡木栄次郎(強化委員会 混合担当)
- ◎理事・事務局長 千葉晋史=新任
事務局 清水基央=新任
- ◎理事 後藤幸弘(科学技術委員長)
理事 宮村一(評議委員長)
理事 合田靖海(広報普及委員長)
理事 山崎裕司(審判委員長・レスキュー委員長)=新任
理事 石川平明(用器具委員長)
理事 利波敏行(営業法制委員長)
理事 松尾由佳(国際担当)
※川北理事はご退任されました。
- ◎会計監査 田中豪(会計監査)=新任
業務監査 中村英作(業務監査)
※西川京子監査はご退任されました。
※理事は4人以上、18人まで。(JDBA定款「第17条 理事の員数」)
- ◎相談役 山岡伸一(元理事)、竹末佳紀(元理事)
- ◎各専門委員会
競技委員長 長谷川伸
強化委員長 半田佳彦

評議委員長	宮村一
審判委員長	山崎裕司=新任
レスキュー委員長	山崎裕司=新任
国際委員長	森永裕幸
用器具委員長	石川平明
法制営業委員長	利波敏行
普及広報委員長	合田靖海
医事厚生委員長	原田直己
科学技術委員長	後藤幸弘
◎委員	村野智子 (総務部長)
委員	野尻恵子 (国際委員)
委員	河田英幸 (強化委員会女子担当)
委員	高橋雅彦 (委員 強化委員会 オープン担当)
委員	山脇秀錬 (評議委員会副委員長)
委員	高橋冬扇 (評議委員会副委員長)
委員	池田和也 (用器具委員会副委員長)
委員	田中譲 (科学技術委員会副委員長)
委員	杉浦 丈仁 (たけひと)・森薬局管理薬剤師=新任 (医事厚生委員会スポーツファーマシスト)
	※薬の質問が来た時には この方に回してください
委員	橋本正勝 (医事厚生委員会)
委員	丸山春海 (普及委員会担当)

②2021 日本選手権における JDBA 理事 18 名への役員謝金 (1 日 4000 円) 支払いについて (承認事項)

2021 年開催予定の日本ドラゴンボート選手権大会の競技役員として参加する JDBA 理事 18 名に対して、交通費・謝金として 1 人 4000 円を支払う。(事務局)

③2021 日本ドラゴンボート選手権大会の開催日程延期について

コロナ禍の中、緊急事態宣言発出により各チームの練習が滞っている現状を踏まえて、7 月 11 日開催予定の日本選手権を 11 月 7 日を中心に延期して開催する。(事務局)

④日本レクリエーション協会への加盟について (長谷川理事長より)

海の森水上競技場の優先予約ができる団体として TOBA は東京都レクリエーション協会に加盟すべく手続きしています。JDBA も日本レクリエーション協会への加盟を目指したい。